

教科	図画工作	学年	第4学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ぎよ・ぎよ・魚	8	【知】粘土の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。 【思】粘土の操作感や今までの経験から表す形を考えよう。 【学】粘土の手触りを味わい、たのしく表そう。	粘土の感触を味わいながら特徴を理解している。 粘土や釉薬、用具を適切に使い表したいものに合わせて工夫している。	粘土の操作感や今までの経験から、どうお魚を表すか考えている。	粘土の手触りを味わい、主体的にお魚を表そうとしている。
つつんだアート	2	【知】いろいろな用具や場所のつつみ方を工夫しよう。 【思】用具や場所をラップで包みながら新しい見え方を考えよう。 【学】用具や場所をラップで包みながら新しい見え方を探求することをたのしもう。	ラップの特性から包み方や留め方がわかっている。 伸ばして巻いたり、重ねて光の透過を調整しながら見え方を工夫している。	ラップを使って用具や場所などの様々なところを包み、どのような形にしていきたいか考えている。	ラップで包んでいつもと違う景色を想像する活動に進んで取り組み、たのしもうとしている。
まぼろしの木	6	【知】木の形やドベの塗り方を工夫しよう。 【思】ドベの感触や広がり方から、表したいことを考よう。 【学】ドベで木を描くことをたのしもう。	身近にある木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。 ドベを使って、自分の指で思い通りに枝を伸ばし、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。	身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、表したいことを考えている。	身近にある木々に興味をもち、自分なりの木をドベを使って描くことをたのしもうとしている。

# 評価規準

学校名:江戸川区立上一色南小学校

<p>光のさしこむ絵</p>	<p>4</p>	<p>【知】ステンドグラスみたいに見えるよう工夫しよう。 【思】自分が表したい模様がステンドグラスのようになるよう考えよう。 【学】光を透過して美しく見えることをたのしもう。</p>	<p>色水を混ぜた木工用ボンドという描画材の形や色の感じがわかってる。 光のさしこむステンドグラスのように見えるよう描き方を工夫している。</p>	<p>自分のイメージや形や色などの感じをもとに、光を透過させたときに美しい模様を思いつき、どのように表していくかを考えている。</p>	<p>色水を混ぜた木工用ボンドが固まって半透明になりステンドグラスのように光を透過させる作品を作ることをたのしもうとしている。</p>
<p>マイ・ビューティフルネーム</p>	<p>8</p>	<p>【知】彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫しよう。 【思】表したい名前の形を考えよう。 【学】彫って刷ることをたのしもう。</p>	<p>彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかってる。 彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。</p>	<p>自分の名前から、自分のイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのようにつくるかについて考えている。</p>	<p>版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりすることをたのしもうとしている。</p>
<p>くねくね糸の子パズル</p>	<p>4</p>	<p>【知】板の切り方や切った板の組み合わせ方を工夫しよう。 【思】使ってたのしいものを考えよう。 【学】作品をつくってたのしもう。</p>	<p>のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりして、形や色やその組み合わせの感じがわかってる。 のこぎりなどの用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。</p>	<p>板の形や組み合わせの感じをもとに、自分のイメージを広げ、使ってたのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見通しをもって考えている。</p>	<p>つくることや、つくったものを使うことをたのしもうとしている。</p>
<p>白の世界</p>	<p>6</p>	<p>【知】様々な自然の材料から組み合わせを工夫しよう。 【思】様々な自然の材料から小人くんが楽しく過ごせる白の世界を考えよう。 【学】小人くんが楽しめる白の世界を表すことをたのしもう。</p>	<p>様々な自然の材料の形や色などの感じがわかってる。 様々な自然の材料の組み合わせを工夫し、雪が積もった冬の景色の表し方を工夫している。</p>	<p>小人くんの住む雪が降り積もった白の世界に思いをはせ、イメージを広げながら、思いついた景色をどのように表すか考えている。</p>	<p>小人くんが楽しめる白の世界を立体的に作ることをたのしもうとしている。</p>

# 評価規準

学校名:江戸川区立上一色南小学校

凹凸ワールド	6	<p>【知】布の形や固め方を工夫しよう。</p> <p>【思】布が固まった形から、表したいことを考えよう。</p> <p>【学】液体粘土の感触を味わおう。</p>	<p>布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっている。</p> <p>布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫している。</p>	<p>固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、どのように表すかについて考えている。</p>	<p>液体粘土の感触を味わいながら活動に取り組もうとしている。</p>
つないで組んで素敵な形	6	<p>【知】紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫しよう。</p> <p>【思】使ったり飾ったりするものを考えよう。</p> <p>【学】作品を使ったり飾ったりしたのしもう。</p>	<p>紙バンドを曲げたり折ったり、組み合わせたりして、形や色の感じがわかっている。</p> <p>紙バンドを曲げたり折ったりしながら、表したいことに合わせて組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。</p>	<p>自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ったり飾ったりするものを思いつき、どのようにつくっていくか考えている。</p>	<p>紙バンドの特徴を生かして、使えるものや飾りをつくることをたのしもうとしている。</p>
行ってみたい町、どんな町？	6	<p>【知】絵具の使い方を工夫しよう。</p> <p>【思】行ってみたい町をイメージして表したいことを考よう。</p> <p>【学】自分の生きたい町を表すことをたのしもう。</p>	<p>絵具の色の感じや表現の特徴をわかっている。</p> <p>自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。</p>	<p>自分の行ってみたい町のイメージをもとに、表したいことを考えている。</p>	<p>絵具を使って自分の行ってみたい町を表すことをたのしもうとしている。</p>
飛び出すハッピーカード	4	<p>【知】飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。</p> <p>【思】贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。</p> <p>【学】カードで気持ちを伝えることをたのしもう。</p>	<p>飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。</p> <p>飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。</p>	<p>贈る相手のことを思い浮かべながら、伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。</p>	<p>つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。</p>